



もうすぐ8月！ポーポキが住んでいる神戸は蒸し暑い！生活は変わりましたね。でも、ポーポキには変わらないこともあります。例えば、暑い日にアイスコーヒーを飲んでホッとすること！あなたも変わらないことがありますか？ホッとできることは？安全に過ごしてね！



Popoki's Hot News!



Coming up???

灘チャレンジは9月13日の予定でした。

<https://nadachallenge.wixsite.com/nadachallenge/cny>

ポーポキは、オンライン開催を願っています！



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのべさにゃんは、

次の「一言の平和」を送ってくれました。

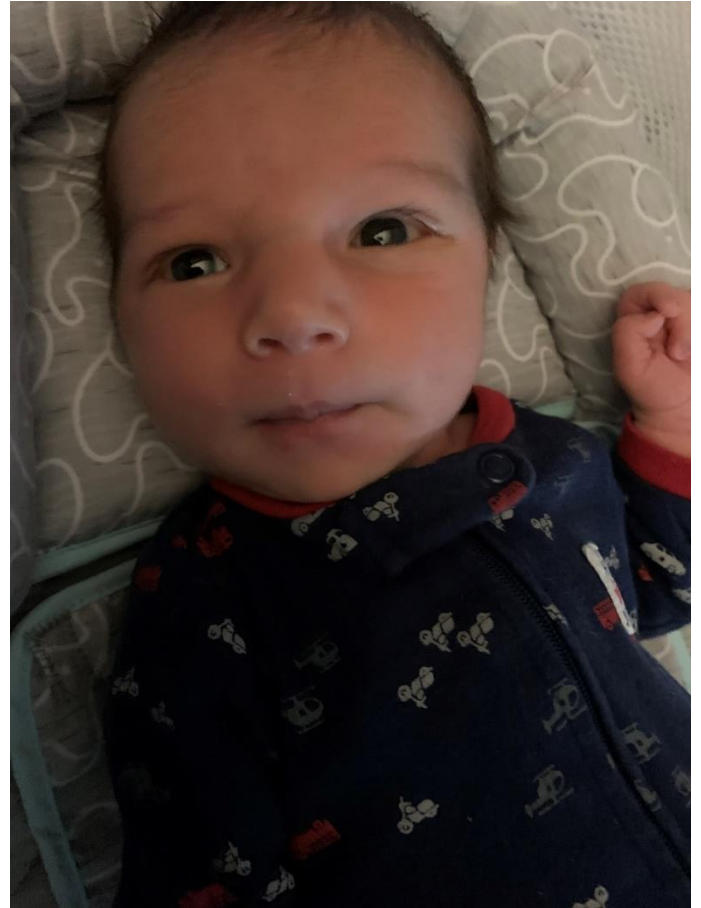
「一人で家にいることを怖がる人はいる。家を出ることを怖がる人もいる。だけど、私自身が一人の時に部屋で音楽を聴くと、怖いものはない。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

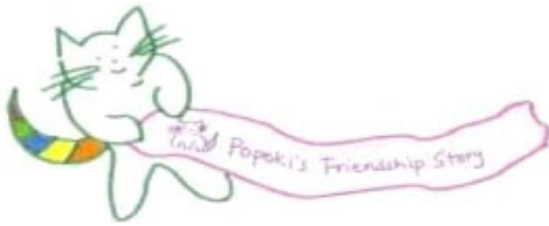
ポーポキの新しい（そして最も若い）友だち！

Aaron Mekh Slominski は、6月23日（火）午前8:51にアメリカで生まれました。
あろんにゃんのお母さんはアスタにゃん、お父さんはコールにゃん！



おめでとうございます！！





Popoki's Interview

* 新しいシリーズとして、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、三つのレポートです！

中国、スウェーデンそしてマレーシアにおけるコロナウイルス

こんにちは、阿佐優花です。今回はアリエルさん、祐慶さん、デニースさんの3人の友人に「あなたの住んでいる国とコロナウイルス」という比較的大きなテーマでインタビューをしました。というのも、彼らにコロナウイルスの状況を自由に表現していただきたかったためです。ここでお名前を使ってよいとみんなが同意してくれました。

1. アリエルさん: 彼女は2020年2月から3月にかけての中国の珠海市(マカオの隣の市)におけるコロナウイルスの様子を報告してくれました。



写真 1: 誰もいない道路

この写真は、2月初旬のコロナウイルス感染拡大がとても深刻な状況だったときのものです。私の住む珠海市には多くの感染者が存在し、香港やマカオに渡航していた人々は強制的に帰らされるか、検疫を受けなければなりません。そんな状況の中で、コロナウイルスの発生以来、初めて買い物に出かけた際にこの写真を撮りました(写真というよりはビデオのスクリーンショットですが)。この場所はコロナウイルス発生以前には、多くの通学・通勤者で溢れていましたが、この日はほとんど人がいませんでした。



写真 2：人がまばらな市場

市場のこの写真は2月中旬で、以前と比較すると感染者は減少傾向にあったことから、市場へ食料品を買いに行くことができたのですが、それでもなお、人々はマスクを着用する必要があり、いくつかの店は閉店したままでした。



写真 3：公園の入り口



写真 4：公園の入り口

これは3月の写真で、私の住む珠海市はコロナウイルス感染拡大防止対策のおかげで、数日間には新しい感染者がいなかったこともあり、公園は開園しました。しかしながら、以前とは異なって、人々はマスクを着用しなければならないのと、事前に体温を測定する必要があります。

2. デニースさん: 彼女は2020年の6月半ばのスウェーデンのストックホルムにおけるコロナウイルスの様子を報告してくれました。

写真 1: トラムの中



レストランにはあまり行かないので、正確にはわかりませんが、それらはある一定の条件のもと、営業しています。そのため、ストックホルムでは以前と変わらず人々は外出しており、トラムは以前ほど混んではいませんが、まだ多くの方が乗車しています！そして、驚くことに多くの方はマスクを着けていません！しかしながら、いくつかの広告や店では、他の人と一定の距離を取るよう呼びかけていることから、スーパーマーケット等では距離を取るよう心掛けています。私達はいつも通りスポーツ活動を行うことができ、私の所属するサッカーチームはいつも通り練習をしています。試合は中止になりましたが、今ではすでにプレ試合を行うことができるようになりました。幼稚園や小学生は休園、休校せず通常通りですが、高校等の比較的大きい子供や大学生への授業は全てオンラインに切り替わりました。また、在宅ワークをする人も増えましたが、もち

ろん全ての職業でリモートワークが可能というわけではありません。

当初、全てのニュースはコロナウイルスに関するものでしたが、現在はだんだんとその数は減っています。興味深いのは、スウェーデンのニュースでは1日あたりの死亡数が減少していることを示している一方で、ドイツ（デニースさんはドイツ出身）のニュースではスウェーデンからの感染が非常に多いと報じており、スウェーデンからドイツに入国する人は検疫を受けなければなりません。しかし、それはスウェーデンでは報じられていませんでした。デンマークやノルウェー、そしてフィンランドはスウェーデンとの国境を開放していません（2020年6月現在）。なぜなら、スウェーデンでは感染率が高いからです。

3. 祐慶: 彼は 3 月末のマレーシアのスバンジャヤにおけるコロナウイルスの様子を報告してくれました。



写真 6: 人がいないコンドミニアム

この写真はコンドミニアム内にあるレストランです。コロナウイルス感染拡大で客足が減少したことから、その多くは閉店しました。また、商業活動の再開が認められてから 3 週間ほど経っているのにも関わらず、営業を再開しない店は少なくないことが事実としてあります。



写真 7: スーパーマーケットの入り口

スーパーマーケットへ入店する際には、QR コードをスキャンし、名前と電話番号とを記入する必要があります。その後、店員が体温を測り、感染防止対策のためマスクとビニール袋を渡しています。

コロンビアからの便り

やこにゃんの友人、マクアルーさんがコロンビアのボゴタ郊外のチアに住む二人のこどもたちにインタビューを行い、回答をスペイン語から英語に翻訳して手伝ってくれました。

インタビュー 1

Interviewer: やこにゃんとマクアルーさん

Interviewee: ヴァーレ・ガルシアさん (8 歳)

1) 普段は何をして過ごしていますか。

起きてシャワーを浴び、朝ごはんを食べます。午前 9 時にオンラインの授業があります。午前 10 時に運動の授業があります。午前 11 時に水を飲んで、しばらくお母さんとおしゃべりをして、12 時に授業に戻ります。

午後 1 時にお昼ごはんを食べます。午後 2 時から 3 時まで再び授業があります。そのあとは、自由時間です。テレビを見たり、読書をしたり、絵を描いたり、ときどき物語を書いたりします。お母さんと遊んだりもします。

午後 7 時に晩ごはんを食べて、午後 8 時に寝ます。

2) コロナウイルスについてどう思いますか。

うーん、コロナウイルスは、私たちみんなが自分自身を守らなければならないウイルスのように思います。私たちが、家において、自分を消毒して、気を付けて、手を洗わなければいけないウイルスです。

3) いまお気に入りのことは何ですか。

おりがみです。

4) 最近、絵を描いたり、作品を作ったりしましたか。

はい。おりがみで、特にお花などのかたちを作っています。

5) いちばん楽しいことは何ですか。

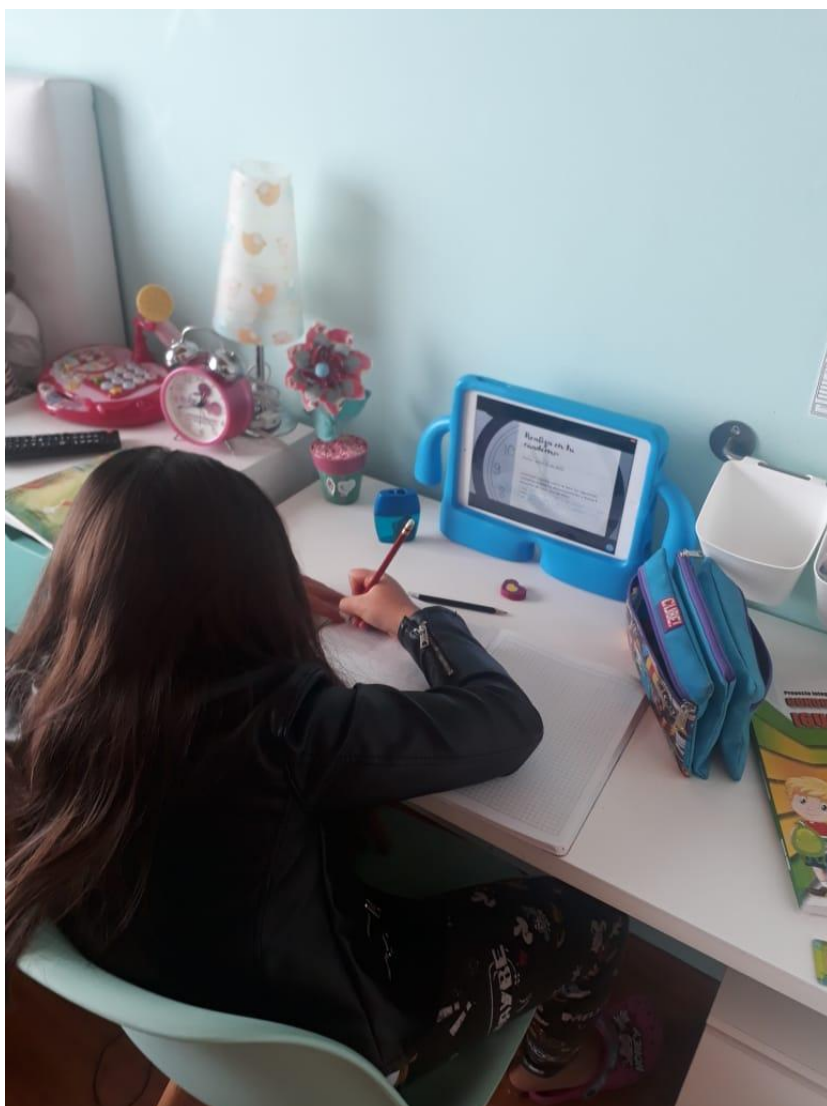
家族と時間を過ごせることが好きです。

6) いま何かいやなことはありますか。もし、あるなら、それは何ですか。

はい。ロックダウンのなか過ごしさなければならず、外出できないことがいやです。

7) ロックダウン後、外出が許されたら、何をしたいですか。

私が最初にしたいことは、クラスメートたちに会うことです。



インタビュー 2

Interviewer: やこにゃんとマクアルーさん

Interviewee: ヘロブロスくん (5 歳)

1) 普段は何をして過ごしていますか。

起きてシャワーを浴びます。朝ごはんを食べた後、おもちゃで遊びます。午前 9 時にオンライン授業があって、パオラ先生と遊びます。午後は、かくれんぼをします。夜には、晩ごはんを食べ、歯をみがいて寝ます。

2) コロナウイルスについてどう思いますか。

自分も病気になっちゃうかもしれない。

3) いまお気に入りのことは何ですか。

おもちゃのマリオ・ブラザーズです。マリオ・ブラザーズが大好きで、ポスターやおもちゃのマリオ・ブラザーズで部屋中を飾っています。

4) 最近、絵を描いたり、作品を作ったりしましたか。

はい、赤と白のねんどと発泡スチロールのボールとフォークで、赤いふくろうを作りました。

5) いちばん楽しいことは何ですか。

ダンスです。

6) いま何かいやなことはありますか。もし、あるなら、それは何ですか。

公園に行けません。



7) ロックダウン後、外出を許されたら、何をしたいですか。

公園に行って、兄弟姉妹と遊びたいです。それから、誕生日プレゼントに両親が買ってくれた自転車に乗りたいです。

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 147

今月のテーマは、肩と首です！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. では、立って、手を頭の上に置きましょう。腕の重みで首を手のほうへストレッチ！片方が終わったら、反対側もトライしてね！
 3. 次に両手を頭の上に置きましょう。今度はやさしく前へ。首は伸びていますか？
 4. 最後に肩を上、上、耳まで！そのまま我慢！そして…力を抜く！繰り返しましょう。
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：8月11日 Zoom会議 18:30～*

*リンクが必要は方はメールでポーポキに聞いてくださいね

- 8.6 9:00~10:30 核問題を話し合う ZOOM！日本・アメリカ・グアム！参加希望の方はポーポキにご連絡ください。
- 8.6 ポーポキ@第17回 多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー！
詳しくは次ページをご参照ください！

ポーポキの友だちからのおすすめの絵本

『りょうくんのすずむみち—学校に行けない君たちへ—』作・絵 かねしろ みゆき、学研2019年。

大槌町 『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会、ほか。2019.7。



対象者：国際理解教育・開発教育に興味のある教職員、学校関係者、学生、高校生

参加費無料

主催：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、公益財団法人神戸 YMCA、公益財団法人 PHD 協会、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部、独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）

8月4日(火)

13：00-14：30 >> 基調講演 <<参加型>>

「COVID-19 と開発教育」 定員：80名(先着)

■講師：開発教育協会(DEAR)事務局長 中村絵乃

■内容：COVID-19 は、今の社会の問題を明らかにし、教育の役割を大きく問い直すことになりました。ウィズコロナの時代に、持続可能な社会を作るための教育をどのように進めればよいのでしょうか。グループワークも含めて、皆さんと考えていきたいと思います

15：00-17：00 >> 分科会① <<参加型>>

「プラスチックごみ」(国際理解、環境、SDGs) 定員：20名(先着)

■講師：開発教育協会(DEAR)職員 伊藤容子・八木亜紀子

■内容：DEAR が作成中の教材「プラスチックごみ」を使ったワークショップです。プラスチックをめぐる日本と世界の現状、リサイクルの謎、そして、より良い未来のためのアクションについて考えます。 ※外務省 NGO 相談員事業

8月5日(水)

13：00-14：30 >> 分科会②

「ICT×SDGs：バーチャル学校訪問から見る、遠隔授業の可能性」(多文化共生) 定員：40名(先着)

■講師：滋賀県立米原高等学校教諭 堀尾美央

コレジオサンタナ学園(ブラジル人学校)校長 中田ケンコ

■内容：COVID19 の影響によって学校現場に身近になった IOT 教育。滋賀県の外国人学校と中継接続した遠隔授業を通じて、ICT×グローバル教育を体験してみましょう!

15：00-16：10 >> 分科会③ <<参加型>>

「ワークショップで考える難民」(難民) 定員：48名(先着)

■講師：難民事業本部関西支部 中尾秀一

■内容：あなたの家族が難民になったらどうしますか。難民とはどのような人なのでしょうか。難民の定義や避難しなければならない原因、難民の身に降りかかる困難について、教室でもオンラインでも使える手法で考えます。

8月6日(木)

13：00-14：30 >> 分科会④ <<参加型>>

「ねこのポーポキと一緒に平和をつくりましょう」(平和) 定員：20名(先着)

Making Peace with the Cat, Popoki Ronni Alexander

■講師：神戸大学大学院 国際協力研究科 教授 ロニー アレキサンダー

■内容：「平和って何色？」平和そのものやそれを妨げるものについて問いかけるバイリンガルな猫、ポーポキ。オンラインで一人ひとりの積極的な平和づくりを目的とする参加型ワークショップです。

おねがい

<<参加型>>の分科会は顔を出して(カメラをオンにして)のご参加をお願い致します。

※申込書にご記入頂く個人情報は、セミナーに関連する事前・事後の随手続きのみに使用いたします。

<<詳細・申し込み方法>> 7月31日(金)締め切り

下記 URL または QR コード より WEB フォームへお進みください。詳細をご確認頂けます。

【URL: <https://forms.gle/ixJZWRHae9ywPccj9>】

【お問い合わせ先】

JICA 関西 市民参加協力課 担当 遊川(ゆうかわ) TEL:078-261-0384 / E-mail:jicaksic-renkei@jica.go.jp



Popoki in Print ポーポキ通信のバックナンバー<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

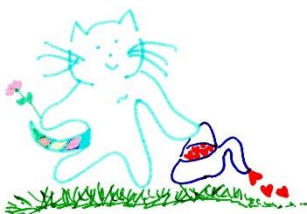
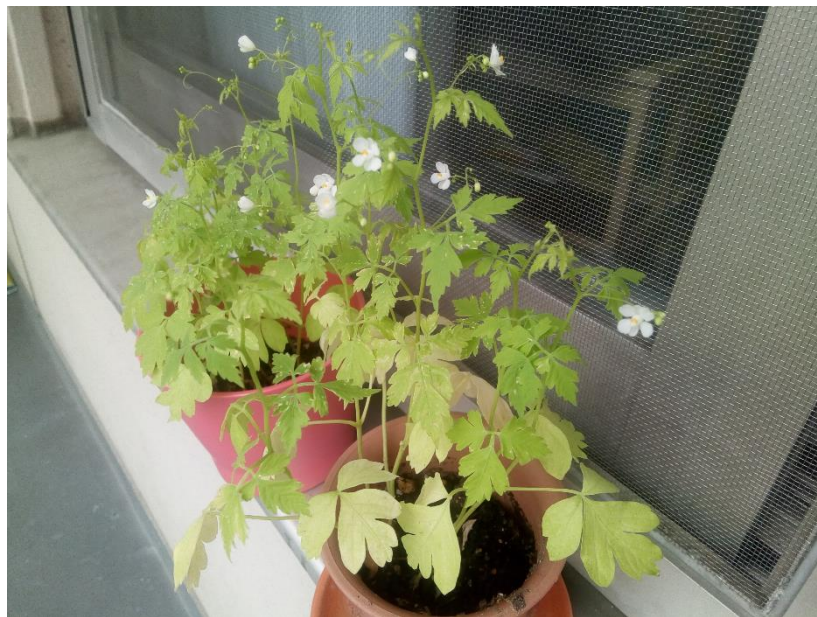
- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのまど 52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！」<http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』（連載）とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまど⑯(パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被災地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10



私にとってポーポキ

らくにゃん

わたしにとって、ポーポキは理解です。ポーポキは日本について教えてくれる非常に熱心な友人です。ポーポキは辛抱強く、そして良いリスナーです。ポーポキは、日本に来てからの私の苦勞に耳を傾けてきました。私は日本に到着してから数日後にポーポキに出会いました。ポーポキは日本で初めての友人でした。私は、私の人生にポーポキがいて幸運です。ポーポキは私に日本のことを教えてくれます。ポーポキが日本について教えてくれるので、私はこの新しい世界をよりよく理解できます。私は日本のいくつかのことが好きです。しかし、ポーポキが日本について私に話すとき、私はすべてが好きです。私はポーポキと話すのが大好きです。ポーポキには多くの友人がいます。そしてポーポキの友人たちも彼と話したいと思っています。ポーポキは二人の新しい友だちを作りました。彼らも私の友だちです。私は毎日彼らと話します。どうもありがとうございました、ポーポキ!





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なりたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!